

# 静岡県月例経済報告

(令和8年2月号)

……令和7年12月を中心とした県内経済のすがた……

No. 598



## 幸福度日本一の静岡県

— 静岡県経済産業部 —

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	7
・需要面 .....	7
・生産面 .....	15
・雇用面 .....	17
・その他 .....	20
III 静岡県主要産業の動向 .....	24
IV データからみた県内主要産業 .....	27

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryu/getsureihokoku/index.html>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和7年12月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概況

令和7年12月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、物価動向や米国の通商政策をめぐる動きなどの景気を下押しするリスクに留意が必要である。また、雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、持ち直しつつある。
- ・ 生産は、横ばいとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

## 需要面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している」

大型小売店販売額(12月)は、百貨店が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパーが14か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも14か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(12月)は、コンビニエンスストアが10か月連続、ドラッグストアが4か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも3か月ぶりに前年実績を下回ったため、総額でも5か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車(新車)新規登録台数(12月)は、乗用車が3か月ぶり、軽自動車が2か月ぶりに前年実績を上回ったため、総数でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(12月)は、持家が9か月ぶり、分譲住宅が2か月ぶり、貸家が5か月連続で前年実績を上回ったため、全体では3か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(12月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観(12月調査)の令和7年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（12月）は、5か月連続で前年実績を下回った。

### 「輸出は、持ち直しつつある」

### 「輸入は、前年を上回った」

輸出総額(12月)は、原動機が3か月連続、エアコン、自動車、科学光学機器がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車の部分品が5か月連続、二輪自動車類が3か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額(12月)は、パルプが4か月連続、紙類及び同製品が5か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品、木材がいずれも2か月ぶり、原動機が2か月連続、自動車の部分品が5か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,295億円の輸出超過となった。

## 生産面

### 「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数(12月)は、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、電気機械、化学がいずれも2か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械、食料品・たばこがいずれも2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が3か月ぶりに前年水準を上回ったため、総合でも2か月ぶりに前年水準を上回った。なお、前月比は2か月連続で減少した。

鉱工業在庫指数は、総合では4か月連続で前年水準を上回った。

## 雇用面

### 「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(12月)は1.09倍となり、前月を0.03ポイント上回った。59か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.10ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(12月)は、7か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(11月)は2か月ぶりに前年実績を下回った。

## その他

### 「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(12月)は、前年同月比 1.9%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(12月)は、前年同月比 21.9%増と前年実績を上回った。

### 「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産(12月)は、件数は27件（前年同月比 58.8%増）と前年実績を上回り、負債総額は3,196百万円（同 108.9%増）と前年実績を上回った。

## 静岡県は

# パートナーシップ構築宣言

を促進しています

県では、適切な価格転嫁の機運醸成や取引適正化に向けて、令和5年6月7日に産官労の13団体で「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言」を行い、参画団体が連携して取組を進めてきました。

この取組をより一層推進するため、令和7年9月9日、新たに金融2団体が参画し、内容を拡充した共同宣言(裏面)を発出しました。

### パートナーシップ構築宣言とは



「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や付加価値向上を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するものです。



▲ 共同宣言式の様子(令和7年9月9日)

## パートナーシップ構築宣言登録数 (R8.1.31時点)

全国  
6位

県内

4,022社

全国

85,001社

### 優遇措置・メリット

パートナーシップ構築宣言を宣言・登録した企業は、以下のような優遇措置・メリットが受けられます！

- 県補助金の加点措置等
- 企業イメージの向上
- 官公需における公契約条例に基づく優先発注
- 取引先との信頼関係構築

### 登録後にお願いしたいこと

パートナーシップ構築宣言の登録後も、宣言の実効性向上のため、以下の取組をお願いします

- 社内外への宣言の周知
- 定期的な宣言内容の見直し
- 宣言内容の実行
- 代表者や担当者等、登録情報に変更になった場合の登録変更

静岡県「パートナーシップ構築宣言」ホームページ

静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課

TEL : 054-221-2182

URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1054361.html>



「パートナーシップ構築宣言」の登録はこちら

(公財)全国中小企業振興機関協会

TEL : 03-6228-3802

<https://www.biz-partnership.jp/>



<トピックス>

静岡県 × 有限責任監査法人トーマツ × eii con



# Update SHIZUOKA

総勢18社のスタートアップによるPITCH SHOWER

3.19 札の辻 CROSS HALL  
木 13:00 - 16:30

総勢

18社

静岡初開催!

静岡県ファンドサポート & CO-LAB SHIZUOKA

採択スタートアップが一堂に会する!

集まれ! こんな静岡県内企業、静岡県内団体!

参加無料

- ・スタートアップと協業し、新たな事業機会をつくりたい!
- ・静岡エリアの課題を、実行力あるプレイヤーとともに解決したい!
- ・スタートアップ支援・連携の最新動向を知りたい!



参加申込は  
こちらから

12:30	開場&受付
13:00	オープニング
13:10	静岡県ファンドサポート事業 採択企業 8社によるピッチ
14:50	静岡県実証実験サポート事業 CO-LAB SHIZUOKA 採択企業 10社によるピッチ
16:30	クロージング&ネットワーキング (~ 17:30)

<トピックス>



Well-Being  
幸福度日本一の静岡県

# しずおかアトツギ 未来創造フォーラム



フジ物産株式会社  
代表取締役 山崎伊佐子

静岡県立大学  
教授 落合康裕

株式会社竹屋旅館  
代表取締役 竹内佑騎

株式会社ヤマザキ  
代表取締役 山崎朝彦

加和太建設株式会社  
代表取締役 河田亮一

株式会社エコム  
代表取締役 高梨智志

先着で  
**100名**  
参加無料

静岡県では、事業承継を“企業成長のチャンス”と捉え、県内企業の持続的な発展と地域経済の活性化を目指しています。本イベントでは、事業承継をきっかけに新たな成長を遂げている企業が登壇し、リアルな体験談や成功の秘訣をお話いただきます。経営者・後継者、事業承継をご支援する産業経済団体の方々にとって、貴重な知見やネットワークを得る絶好の機会です。皆様のご来場お待ちしております。

**3.18日 16:00-19:00**

開催場所：静岡市葵区紺屋町2-2  
クーポール会館 5階 5-A

- お申込み方法  
右のQRコードからお手続きください
- 申込締切：2026年3月13日（金）  
（100名の定員に達し次第締切）
- 主催・お問い合わせ先  
主催：静岡県  
事務局：有限責任監査法人トーマツ静岡事務所  
菊地・登坂  
atotugi.shizuoka@tohatsu.co.jp



- 後援（予定）  
経済産業省・中小企業庁、関東経済産業局
- 協力  
静岡県経営者協会、（公財）静岡県産業振興財団、静岡県中小企業団体中央会、（一社）静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合会、（一社）静岡県ニュービジネス協議会、静岡県中小企業家同友会、静岡経済同友会静岡協議会、静岡県事業承継・引継ぎ支援センター、静岡県よろず支援拠点、（株）日本政策金融公庫静岡支店、（株）商工組合中央金庫静岡支店、（一財）静岡県銀行協会、（一社）静岡県信用金庫協会、静岡県信用保証協会

# 中小企業 AI活用セミナー

— 課題整理から始める実践導入 —

AIに興味はあるが、何から始めればよいかわからない。  
そんな中小企業向けに、現場課題の整理からAI活用までを  
実践的に学ぶセミナーを開催します。

**3/5** (木) 14:00-16:30

静岡県産業経済会館 3階 第一会議室  
〔静岡市葵区追手町44-1〕

**参加無料**

**定員 40名**

第1講演

50分

**現場課題の整理とあるべき姿の描き方**

講師 静岡県 AI・IoT アドバイザー 渡邊嘉彦 氏

第2講演

60分

**自社課題を AI にどう結び付けるか**

講師 日本ディープラーニング協会 CDLE 講師 福田正巳 氏

実践  
ワーク  
ショップ

県の取組紹介

10分

静岡県産業イノベーション推進課

質疑応答

15分



◀ **申込はこちら** | 定員に達し次第、締切り

[https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=19431](https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=19431)

主催 静岡県 AI・IoT コンソーシアム



## Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

12月 = 48,140百万円

\* 前年同月比： 0.8%増

(県内3百貨店、164スーパー合計)

&lt;概況&gt;

12月の大型小売店販売額は48,140百万円で、前年同月比 0.8%増となり、14か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 2.5%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパー（同 1.5%増）が14か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 24.1%減）が12か月連続、身の回り品（同 20.3%減）が14か月連続、家庭用品（同 11.5%減）が12か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 3.2%増）が17か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.6%増と、24か月連続で前年実績を上回った。

&lt;最近の動き&gt;

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額（百万円）	39,155	38,899	39,801	40,744	37,392	39,321	40,885	48,140
前年同月比（%）	4.4	2.1	1.7	1.1	1.5	4.7	5.5	0.8
うち百貨店（%）	▲2.3	▲6.8	▲4.2	6.1	▲7.4	2.3	1.7	▲2.5
スーパー（%）	5.5	3.8	2.7	0.5	3.0	5.2	6.2	1.5
(参考1)全国前年同月比（%）	0.6	▲0.1	0.4	1.8	1.9	3.3	3.2	▲0.1
うち百貨店（%）	▲7.0	▲7.7	▲6.1	2.5	1.4	4.2	0.9	▲1.0
スーパー（%）	3.6	3.1	3.1	1.6	2.1	3.0	4.2	0.4
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	4.7	2.3	1.9	2.1	2.2	4.7	5.3	0.6

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

&lt;資料&gt;経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

&lt;商品別前年同月比の推移&gt;

(単位：%)

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	▲17.4	▲17.4	▲21.3	▲13.1	▲26.6	▲14.6	▲15.4	▲24.1
うち紳士服・洋品	▲19.6	▲21.3	▲29.0	▲22.0	▲23.6	▲19.3	▲19.7	▲31.0
婦人・子供服・洋品	▲17.6	▲16.6	▲18.0	▲9.7	▲27.3	▲12.4	▲12.8	▲20.0
身の回り品	▲10.1	▲22.1	▲19.4	▲21.3	▲0.7	▲19.3	▲20.0	▲20.3
飲食料品	6.8	4.2	4.3	1.5	4.0	5.9	6.2	3.2
家庭用品	▲6.5	▲1.7	▲10.9	▲12.4	▲11.5	▲5.6	▲3.2	▲11.5
うち家庭用電気機械器具	5.2	13.8	▲1.3	7.8	5.6	18.6	23.9	7.4

(注)店舗数調整済、全月速報値

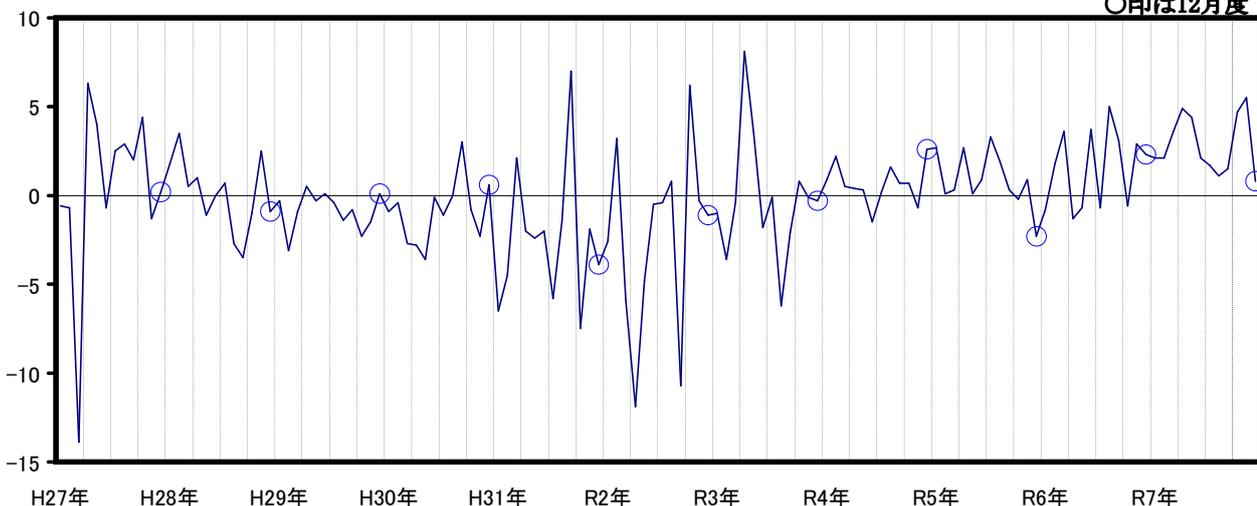
&lt;資料&gt;経済産業省

&lt;過去10年間の推移&gt;

大型小売店販売額前年同月比(%)

&lt;資料&gt;経済産業省

○印は12月度



## (2) 専門量販店等販売額

12月 = 89,670百万円

\*前年同月比：0.3%減

(県内92家電大型専門店、1,674コンビニエンスストア、628ドラッグストア、111ホームセンター合計)

### <概況>

12月の専門量販店等販売額は89,670百万円で、前年同月比0.3%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比0.5%増）が10か月連続、ドラッグストア（同1.2%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店（同2.6%減）、ホームセンター（同6.0%減）がいずれも3か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額（百万円）	80,070	81,786	85,310	85,012	78,109	79,002	80,144	89,670
前年同月比（%）	3.4	4.3	▲0.1	0.1	1.3	2.1	3.8	▲0.3
うち 家電大型専門店（%）	5.9	4.5	▲12.6	0.4	▲1.7	9.7	6.8	▲2.6
コンビニエンスストア（%）	2.2	4.3	1.1	2.2	1.8	0.8	2.6	0.5
ドラッグストア（%）	5.3	4.6	3.4	▲0.2	3.0	1.9	5.1	1.2
ホームセンター（%）	▲0.6	2.7	▲2.0	▲6.3	▲3.8	0.7	0.3	▲6.0
(参考)全国前年同月比（%）	4.5	5.3	2.5	2.8	3.3	4.5	5.3	1.5

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

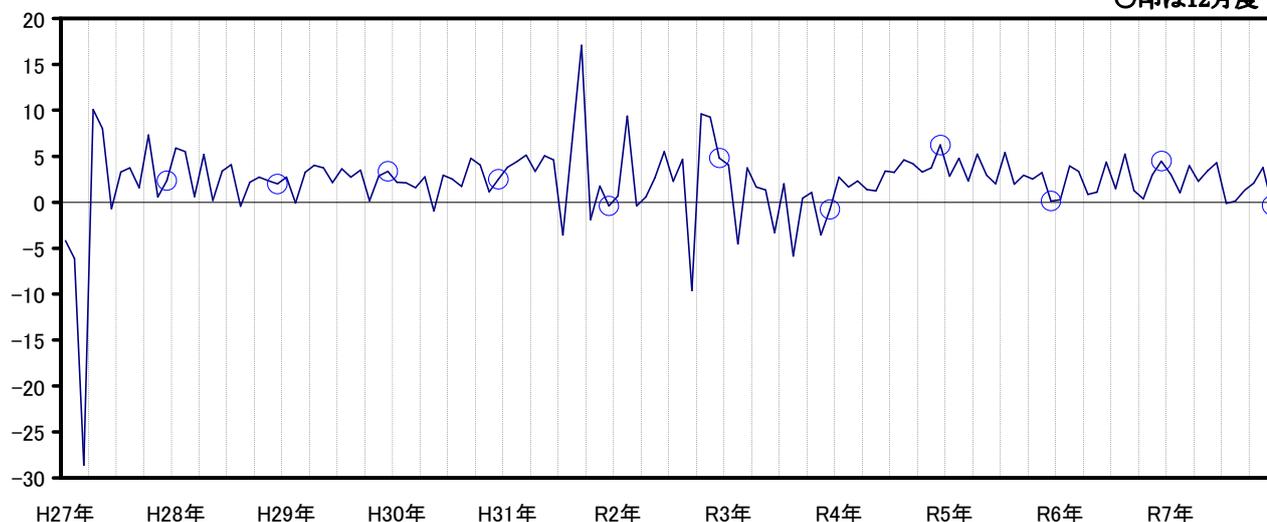
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

### <過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省  
○印は12月度



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

12月 = 12,005 台

\*前年同月比： 3.5%増

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

12月の自動車(新車)新規登録台数は、12,005台で、3か月ぶりに前年実績を上回った。  
 車種別にみると、乗用車(前年同月比 6.0%増)が3か月ぶり、軽自動車(同 0.7%増)が2  
 か月ぶりに前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
登録台数(台)	10,847	13,690	12,819	10,080	14,837	13,867	12,540	12,005
前年同月比(%)	5.4	10.1	▲3.5	▲8.2	2.3	▲0.5	▲6.8	3.5
(参考)全国前年同月比(%)	3.1	5.5	▲3.7	▲8.2	▲2.4	▲2.8	▲7.0	▲0.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

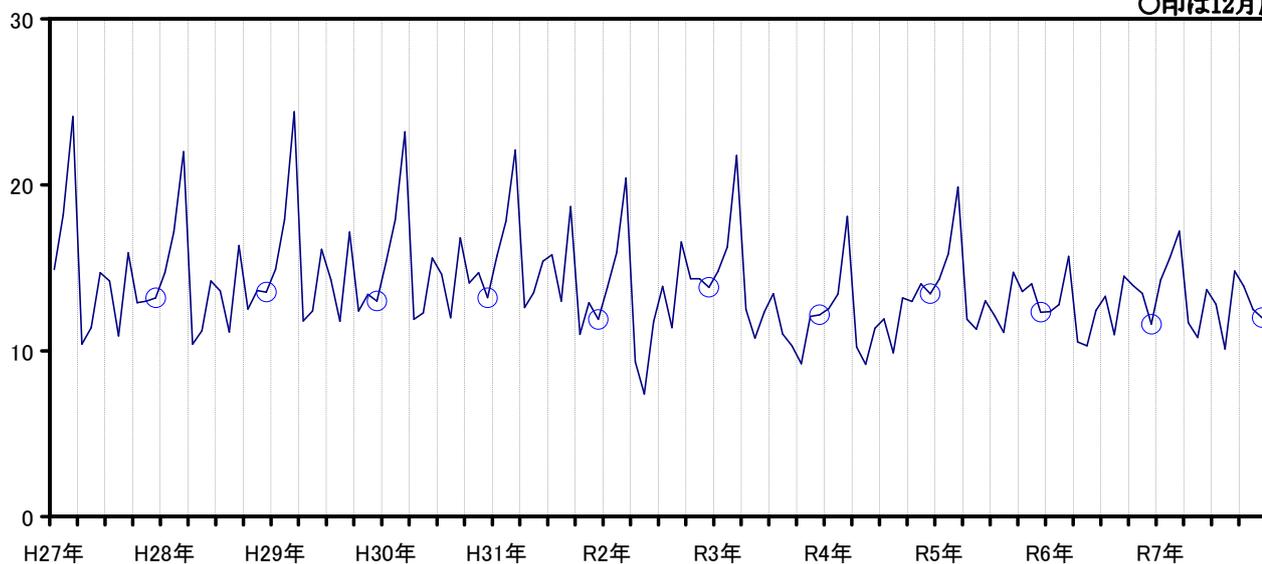
	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全乗用車	5.4	10.1	▲3.5	▲8.2	2.3	▲0.5	▲6.8	3.5
乗用車	▲0.1	8.6	▲2.9	▲11.8	2.7	▲2.6	▲5.9	6.0
軽自動車	12.3	11.9	▲4.4	▲4.0	2.0	2.0	▲7.9	0.7

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課  
○印は12月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

12月 = 1,456 戸

\*前年同月比： 39.1%増

### <概況>

12月の新設住宅着工戸数は1,456戸で、前年同月比 39.1%増と、3か月ぶりに前年実績を上回った。  
 利用関係別にみると、持家（前年同月比 17.1%増）が9か月ぶり、分譲住宅（同 25.5%増）が2か月ぶり、貸家（同 153.5%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
戸数（戸）	1,174	1,364	1,662	1,605	1,403	1,766	1,327	1,456
前年同月比（%）	▲ 43.5	▲ 3.2	1.5	▲ 3.1	3.2	▲ 13.7	▲ 4.9	39.1
うち持家（%）	▲ 24.9	▲ 24.6	▲ 5.7	▲ 10.4	▲ 8.7	▲ 1.5	▲ 9.6	17.1
貸家（%）	▲ 29.0	33.0	▲ 7.2	9.4	11.5	0.3	27.9	153.5
分譲住宅（%）	▲ 70.0	▲ 6.7	61.5	▲ 9.4	37.6	4.3	▲ 23.8	25.5
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 34.4	▲ 15.6	▲ 9.7	▲ 9.8	▲ 7.3	3.2	▲ 8.5	▲ 1.3

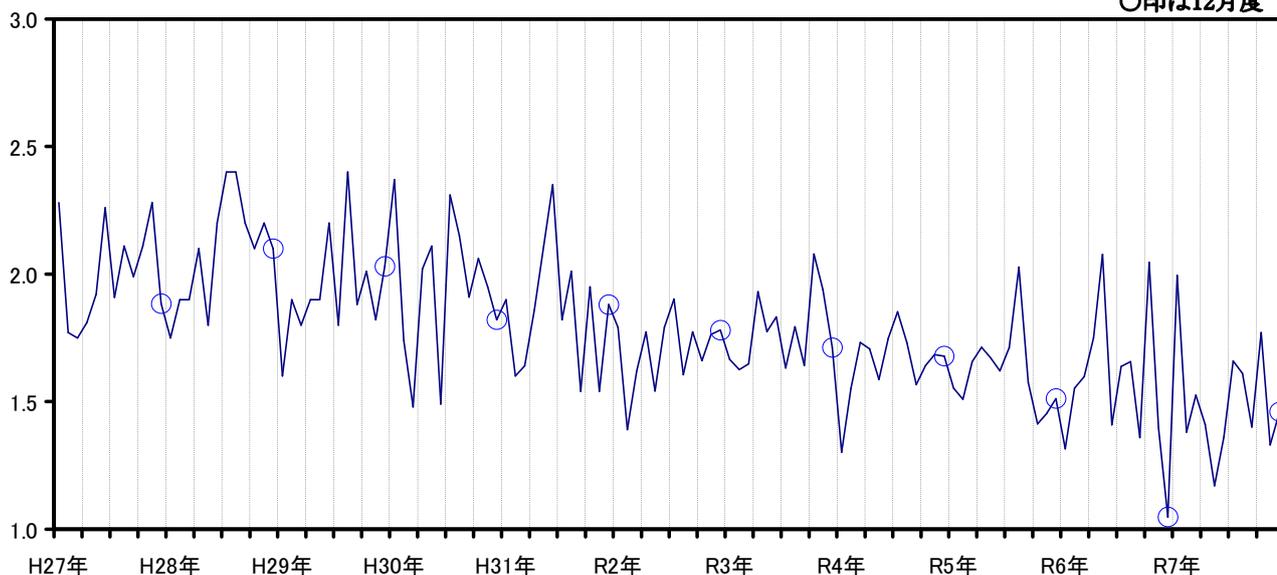
<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は12月度



### 3 公共工事請負金額

12月 = 24,559百万円

\*前年同月比： 116.0%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

12月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は24,559百万円で、前年同月比 116.0%増となり、判定ラベルまた、取扱い件数（工事場所ベース）は394件で、前年同月比4.4%減となり、判定ラベル

#### <最近の動き>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
金額（百万円）	43,571	51,879	37,302	27,483	46,869	19,857	14,761	24,559
前年同月比（%）	▲9.2	39.8	6.2	▲1.9	44.8	▲9.2	▲18.5	116.0
年度累計前年同月比（%）	8.5	16.9	14.7	12.4	16.9	14.7	12.5	16.6
件数（件）	542	711	832	639	1,012	646	465	394
前年同月比（%）	▲19.1	▲7.4	9.3	▲11.6	11.6	▲8.6	▲8.6	▲4.4
年度累計前年同月比（%）	▲19.2	▲14.6	▲8.0	▲8.8	▲4.5	▲5.1	▲5.4	▲5.4

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

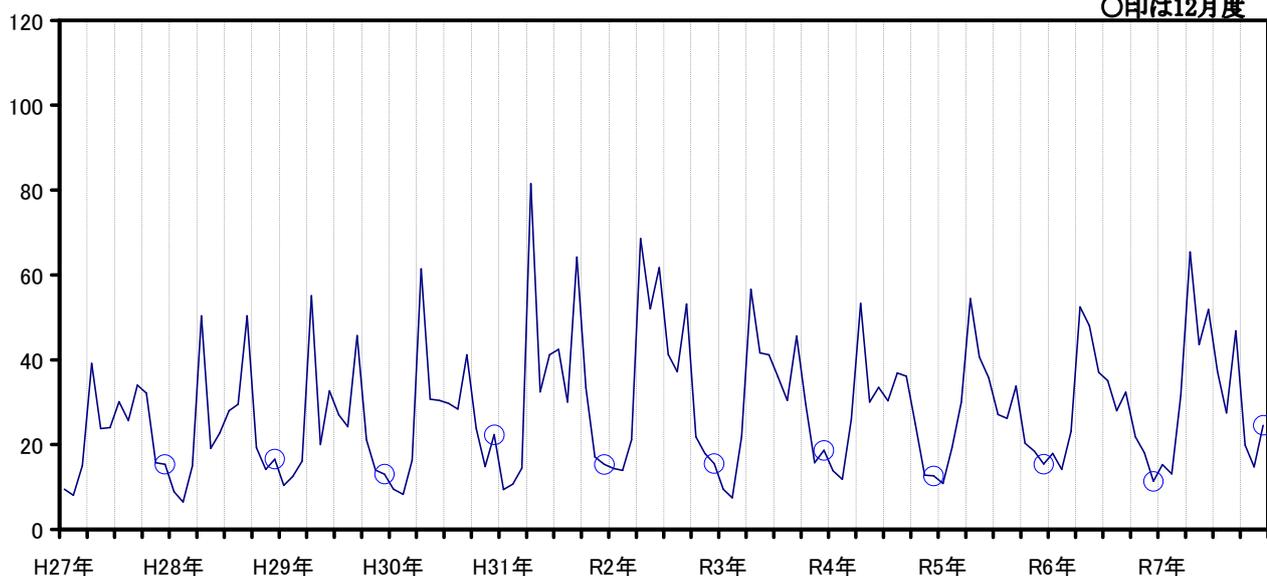
	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国	▲22.3	6.4	65.9	▲38.5	21.4	69.7	▲49.0	66.2
独立行政法人等	▲34.7	250.7	9.1	4,130.3	1,772.5	10.2	▲91.1	7,807.0
県	▲13.0	58.2	11.6	9.9	18.4	▲22.9	▲14.5	▲15.5
市町	7.2	24.7	▲13.7	1.6	15.9	▲14.7	17.0	7.7
地方公社	-	74.7	47.0	-	1,301.4	▲87.0	-	6,848.3
その他	25.3	383.0	14.2	▲61.4	48.6	276.8	▲69.7	▲46.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

令和6年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和7年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 39.1%増）、非製造業（同 4.6%増）、全産業（同 24.2%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 17.4%増）、非製造業（同 3.3%増）、全産業（同 14.5%増）においていずれも増加する計画となっている。

12月の着工建築物床面積（非居住用）は51,895㎡で、前年同月比 4.0%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

#### 設備投資（含む土地投資）

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	7.2	( 1.8) 24.2
	全国	7.5	( 0.5) 8.9
製造業	県	11.5	( 2.8) 39.1
	全国	7.3	( 0.1) 14.0
非製造業	県	2.4	( 0.1) 4.6
	全国	7.6	( 0.7) 6.0

#### ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	11.7	( 0.4) 14.5
	全国	6.9	( 0.0) 9.5
製造業	県	15.1	( 0.7) 17.4
	全国	6.6	(▲0.4) 9.9
非製造業	県	0.8	(▲0.6) 3.3
	全国	7.1	( 0.4) 9.1

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査(令和7年12月調査)」

### <最近の動き>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	91,242	34,889	89,689	57,307	37,380	67,567	50,576	51,895
前年同月比（%）	▲35.8	▲77.5	46.3	▲14.8	▲57.6	▲47.2	▲18.7	▲4.0
(参考) 全国前年同月比（%）	22.8	▲13.9	▲20.7	▲15.6	▲3.1	▲8.0	▲25.1	▲5.9

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R7年9月	R7年12月	R8年3月 (予測)
全産業	全産業	5	8	2
	製造業	▲8	▲6	▲8
	非製造業	18	20	10
(参考) 全国・全産業		15	17	11

(注4) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年12月調査)」

5 輸出

12月 = 256,442百万円

\*前年同月比： 6.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

12月の清水税関支署管内の輸出総額は256,442百万円で、前年同月比 6.0%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。  
 主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 4.3%減）が3か月連続、エアコン（同40.8%減）、自動車（同 7.5%減）、科学光学機器（同 9.9%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車の部分品（同 47.8%増）が5か月連続、二輪自動車類（同 9.3%増）が3か月連続で前年実績を上回った。  
 地域別にみると、米国向け（同 9.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 19.6%増）が2か月ぶり、EU向け（同 1.3%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出総額(百万円)	183,410	217,473	227,255	198,300	213,510	230,911	263,762	256,442
前年同月比(%)	▲5.8	▲4.0	▲7.4	▲4.2	▲1.7	8.7	28.2	6.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.7	▲0.5	▲2.6	▲0.1	4.2	3.6	6.1	5.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
原動機	8.2	17.4	6.5	15.6	2.7	▲13.0	▲14.9	▲4.3
エアコン	61.8	▲3.3	▲26.3	▲9.3	7.3	20.3	▲11.8	▲40.8
自動車	▲18.9	▲35.6	▲4.7	▲15.1	▲8.4	15.3	▲17.9	▲7.5
自動車の部分品	▲6.3	11.4	▲6.0	1.3	13.2	31.2	48.0	47.8
二輪自動車類	9.3	9.6	▲12.9	31.1	▲8.2	24.2	13.5	9.3
科学光学機器	▲24.6	▲31.2	▲42.5	▲25.2	▲13.7	11.4	▲21.5	▲9.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	0.8	▲4.5	▲5.6	▲11.4	▲3.1	9.7	▲3.7	19.6
米国	▲2.0	▲4.3	▲11.5	5.9	▲12.3	▲6.3	100.4	▲9.5
EU	▲14.6	▲9.2	▲17.7	8.2	4.0	38.2	26.9	1.3

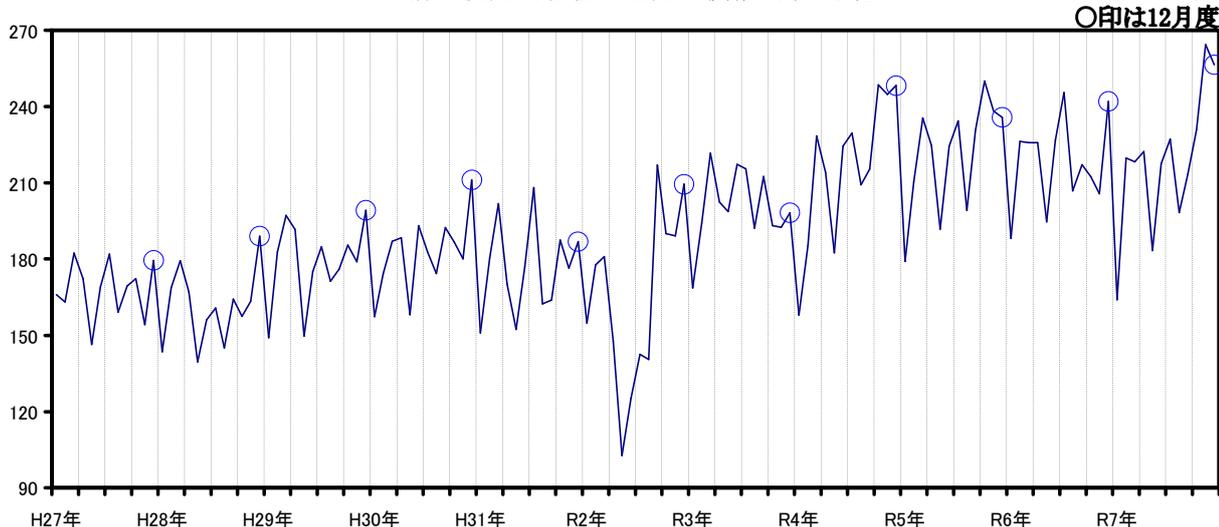
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

12月 = 126,928百万円

\*前年同月比： 5.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸入総額は126,928百万円で、前年同月比 5.3%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、パルプ（前年同月比 25.4%減）が4か月連続、紙類及び同製品（同 17.6%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 21.8%増）、木材（同 21.9%増）がいずれも2か月ぶり、原動機（同 12.1%増）が2か月連続、自動車の部分品（同 21.8%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、米国から（同 9.9%減）が3か月ぶり、EUから（同 9.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジアから（同 23.3%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸入総額（百万円）	133,766	123,956	132,078	105,951	123,998	122,483	122,545	126,928
前年同月比（%）	2.3	11.4	5.8	▲ 5.5	6.9	8.0	7.3	5.3

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類及び同調製品	▲ 4.5	5.9	▲ 2.0	9.4	38.5	10.7	▲ 3.1	21.8
木 材	29.3	0.1	▲ 0.2	2.7	▲ 6.6	17.4	▲ 12.7	21.9
パ ル プ	▲ 5.7	▲ 18.1	▲ 15.8	4.2	▲ 9.7	▲ 8.3	▲ 21.2	▲ 25.4
紙 類 及 び 同 製 品	2.2	28.6	1.2	▲ 14.7	▲ 14.2	▲ 2.6	▲ 28.3	▲ 17.6
原 動 機	▲ 39.6	▲ 0.8	▲ 60.9	22.6	▲ 22.6	▲ 30.3	20.8	12.1
自 動 車 の 部 分 品	▲ 17.1	0.2	▲ 3.0	32.3	5.7	36.9	9.7	21.8

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

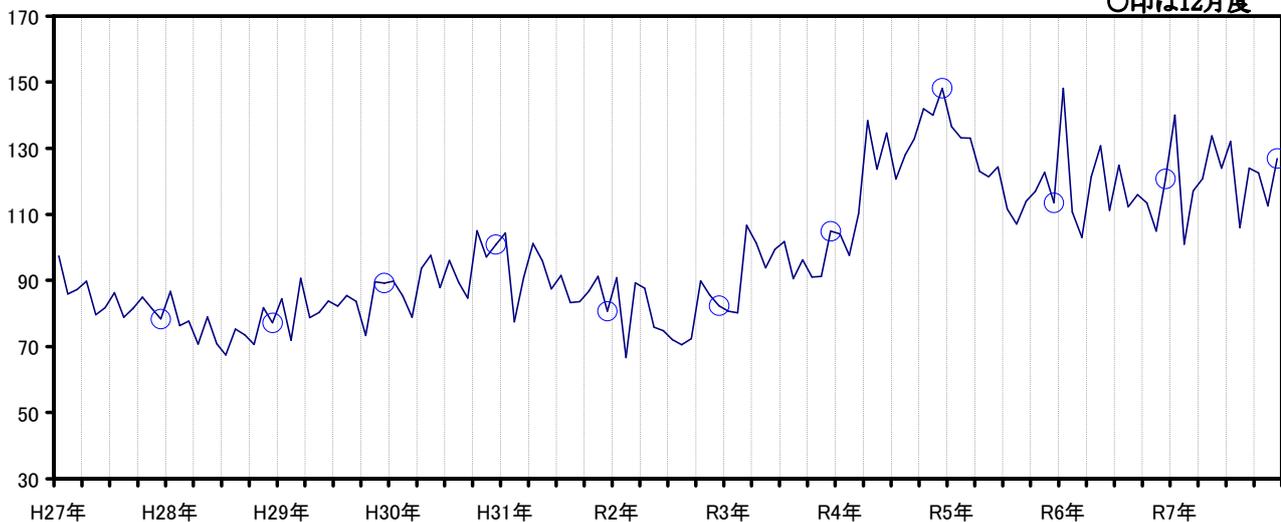
	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ア ジ ア	8.0	7.1	14.1	▲ 3.6	4.1	16.7	20.7	23.3
米 国	▲ 31.3	▲ 15.9	2.7	▲ 30.8	▲ 8.8	12.9	20.6	▲ 9.9
E U	5.5	▲ 14.4	10.1	▲ 14.4	▲ 18.4	18.1	▲ 18.5	▲ 9.3

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署  
○印は12月度



# 生 産 面

## 1 生 産

### (1) 鉱工業生産指数

12月 = 91.6

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 3.7%減

\*前年同月比(原指数) : 0.9%増

#### <概況>

12月の鉱工業生産指数(総合)は91.6(季節調整済指数)で、前月比は3.7%減と、2か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は0.9%増と、2か月ぶりに前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比6.8%減)が2か月ぶり、電気機械(同0.6%減)、化学(同2.2%減)がいずれも2か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械(同6.0%増)、食料品・たばこ(同8.4%増)がいずれも2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同3.9%増)が3か月ぶりに前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指 数	99.8	96.3	93.7	95.3	94.9	97.1	95.1	91.6
前 月 比 (%)	7.0	▲ 3.5	▲ 2.7	1.7	▲ 0.4	2.3	▲ 2.1	▲ 3.7
前 年 同 月 比 (%)	▲ 4.0	1.7	▲ 4.1	▲ 3.0	1.8	2.0	▲ 4.3	0.9
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 2.4	4.4	▲ 0.4	▲ 1.6	3.8	1.6	▲ 2.2	2.6

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 1.8	0.0	▲ 6.6	▲ 3.6	▲ 11.2	▲ 15.9	4.9	▲ 6.8
電 気 機 械 工 業	14.8	25.4	9.9	5.7	4.4	10.7	▲ 9.3	▲ 0.6
輸 送 機 械 工 業	▲ 7.9	▲ 2.1	▲ 4.1	▲ 1.9	6.4	4.0	▲ 1.8	6.0
化 学 工 業	▲ 18.5	▲ 7.6	▲ 14.4	▲ 4.7	1.8	1.9	▲ 8.7	▲ 2.2
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.4	▲ 2.0	▲ 3.8	▲ 8.7	2.7	▲ 0.6	▲ 2.9	3.9
食料品・たばこ工業	▲ 3.6	▲ 1.2	▲ 4.9	▲ 4.4	▲ 2.4	1.2	▲ 3.2	8.4

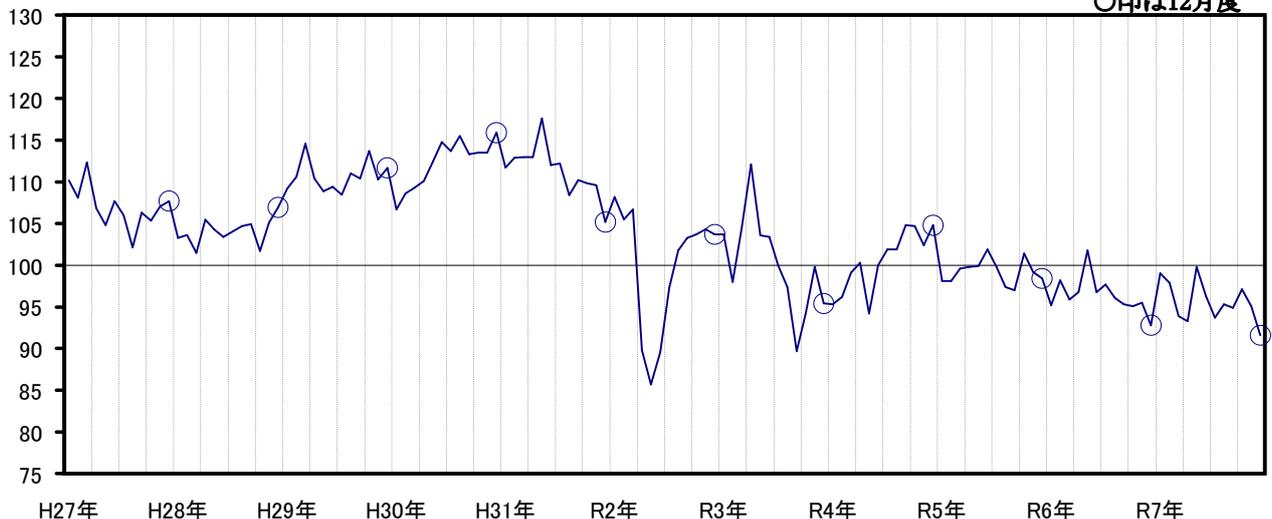
(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課  
○印は12月度



(2) 鋳工業在庫指数

12月 = 102.5

(令和2年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 3.1%減

\*前年同月比(原指数) : 3.8%増

<概況>

12月の鋳工業在庫指数(総合)は102.5(季節調整済指数)で、前月比は3.1%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は3.8%増と、4か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、食料品・たばこ(前年同月比 8.3%減)が7か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同 0.5%増)が2か月ぶり、輸送機械(同 18.5%増)が3か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械(同 6.3%増)が2か月連続、化学(同 5.9%増)が14か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 6.9%増)が19か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	102.8	104.8	102.1	102.0	105.9	104.5	105.8	102.5
前月比(%)	▲0.2	1.9	▲2.6	▲0.1	3.8	▲1.3	1.2	▲3.1
前年同月比(%)	▲2.9	▲0.1	▲2.6	▲5.0	2.6	0.2	1.5	3.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.1	▲3.1	▲2.4	▲2.9	▲2.4	▲1.9	▲4.1	▲2.8

(注)令和2年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲5.9	▲4.9	▲5.3	▲4.7	0.1	▲0.4	5.2	6.3
電気機械工業	▲7.1	3.4	2.1	5.2	▲0.9	1.1	▲1.3	0.5
輸送機械工業	▲17.6	▲7.6	▲13.7	▲34.7	3.6	▲4.7	▲3.6	18.5
化学工業	0.4	4.8	6.3	6.3	12.3	11.5	7.2	5.9
パルプ・紙・紙加工品工業	11.0	8.0	4.6	4.7	2.9	0.3	3.7	6.9
食料品・たばこ工業	3.4	▲2.0	▲11.3	▲0.6	▲4.5	▲8.8	▲4.3	▲8.3

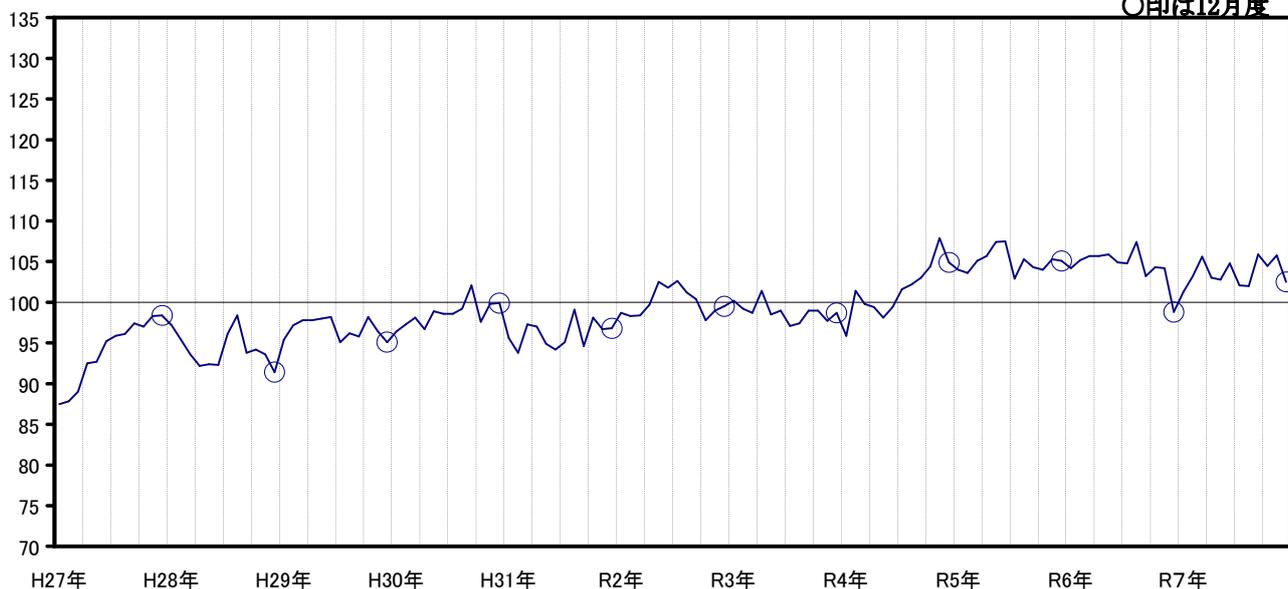
(注)令和2年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

12月 = 1.09倍

\*前月比（季節調整値）： 0.03ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概 況>

12月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.09倍となり、前月を0.03ポイント上回った。59か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.10ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 3.8%増）は8か月ぶりに前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業（前年同月比 3.3%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同 0.8%減）がいずれも2か月ぶり、建設業（同 14.7%減）が6か月連続、運輸業・郵便業（同 17.6%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業（同 5.4%増）が3か月ぶり、卸売業・小売業（同 118.9%増）、医療・福祉（同 1.6%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	R 7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県（受理地別）	1.08	1.07	1.05	1.05	1.04	1.06	1.06	1.09
（参考）県（就業地別）	1.23	1.23	1.19	1.18	1.17	1.18	1.17	1.19
全 国	1.24	1.22	1.22	1.20	1.20	1.18	1.18	1.19

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建 設 業	▲ 4.4	0.3	▲ 4.1	▲ 1.1	▲ 0.1	▲ 8.5	▲ 2.4	▲ 14.7
製 造 業	8.0	▲ 0.8	▲ 16.2	▲ 1.3	3.4	▲ 18.4	▲ 14.5	5.4
情 報 通 信 業	▲ 31.3	11.5	▲ 15.7	▲ 17.8	18.5	▲ 24.2	3.9	▲ 3.3
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 11.6	5.7	3.3	▲ 16.8	▲ 1.3	▲ 13.5	▲ 15.7	▲ 17.6
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 21.9	4.4	18.9	▲ 41.8	▲ 6.9	10.2	▲ 24.5	118.9
医 療 ・ 福 祉	▲ 4.3	0.6	▲ 0.7	▲ 4.0	0.0	3.5	▲ 11.1	1.6
サービス業（他に分類されないもの）	7.6	0.4	▲ 12.1	11.9	3.4	▲ 1.4	4.1	▲ 0.8
合 計	▲ 4.1	▲ 0.6	▲ 3.3	▲ 10.1	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 9.6	3.8

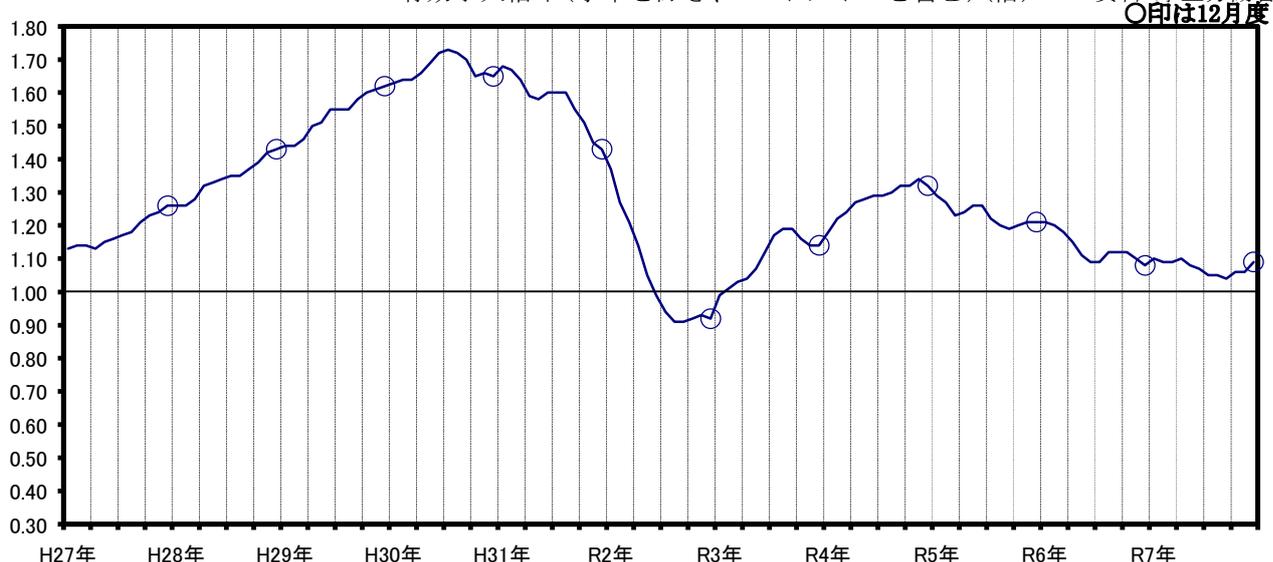
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

12月 = 13,497人

\*前月比: 0.1%増

\*前年同月比: 9.9%増

<概況>

12月の雇用保険受給者実人員は13,497人で、前月比は0.1%増と、3か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は9.9%増と7か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.6%と前月と同水準だった。

静岡県(令和7年7~9月)の完全失業率は2.2%で、前期(令和7年4~6月)から0.1ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人員(人)	12,059	12,992	15,013	14,817	14,982	14,620	13,482	13,497
前月比(%)	7.5	7.7	15.6	▲1.3	1.1	▲2.4	▲7.8	0.1
前年同月比(%)	▲0.8	4.2	8.3	9.0	13.6	11.2	9.6	9.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.3	5.4	7.2	8.5	13.9	11.8	9.3	11.4

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.5	2.3	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6

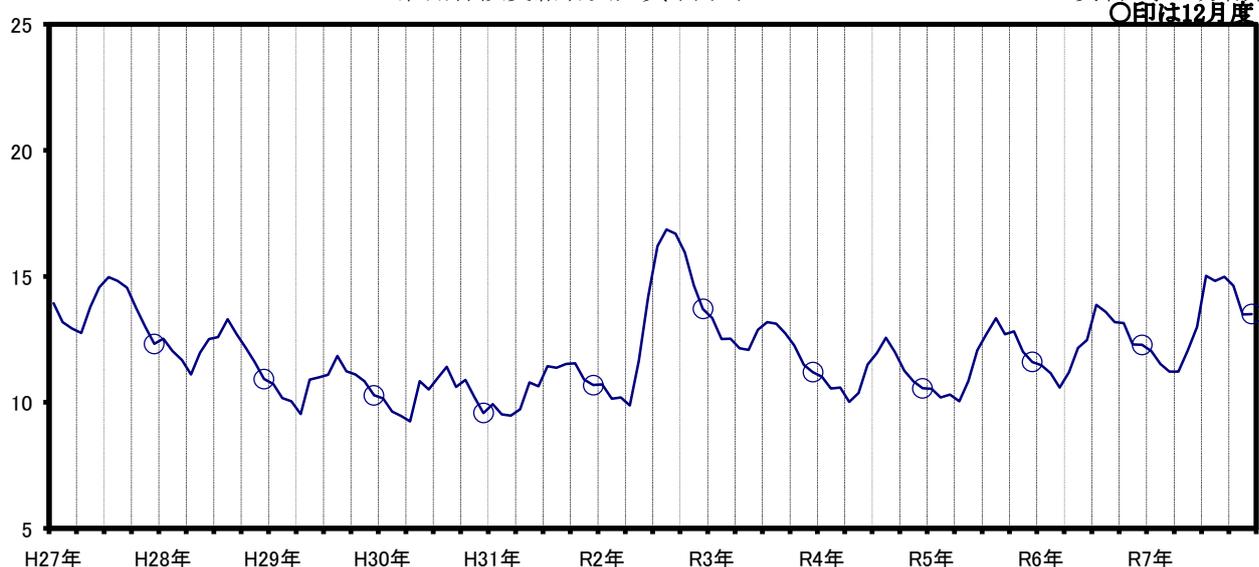
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

11月 = 123.9

\*前月比(季節調整済指数): 0.8%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 4.3%減

#### <概況>

11月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は123.9(季節調整済指数)で、3か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は2か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比 58.0%増)が4か月連続、運輸業・郵便業(同 12.0%増)が10か月連続、卸売業・小売業(同 10.9%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同 29.4%減)が12か月連続、製造業(同 1.9%減)が15か月連続、医療・福祉(同 8.4%減)、その他のサービス業(同 17.4%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	122.1	124.0	124.3	124.6	114.7	123.6	124.9	123.9
前月比(%)	4.1	1.6	0.2	0.2	▲7.9	7.8	1.1	▲0.8
前年同月比(%)	▲4.4	▲4.6	▲0.7	0.0	▲6.8	▲0.8	4.7	▲4.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.7	▲1.8	▲2.6	▲1.7	▲1.9	▲0.8	▲0.9	▲2.4

\*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	▲13.1	▲30.1	▲20.9	▲17.7	▲23.2	▲42.6	▲17.9	▲29.4
製造業	▲7.5	▲9.5	▲9.1	▲7.5	▲12.0	▲8.1	▲7.9	▲1.9
情報通信業	2.3	43.1	38.0	▲10.1	15.2	32.7	11.6	58.0
運輸業・郵便業	14.7	10.6	11.5	42.9	18.4	2.6	12.5	12.0
卸売業・小売業	▲20.9	▲20.6	▲15.1	▲21.8	▲15.4	▲3.1	5.8	10.9
医療・福祉	▲3.0	0.0	22.4	0.0	▲12.7	27.4	▲11.7	▲8.4
その他のサービス業	2.7	2.2	▲6.1	0.0	▲7.1	2.1	▲3.8	▲17.4
調査産業計	▲4.4	▲4.6	▲0.7	0.0	▲6.8	▲0.8	4.7	▲4.3

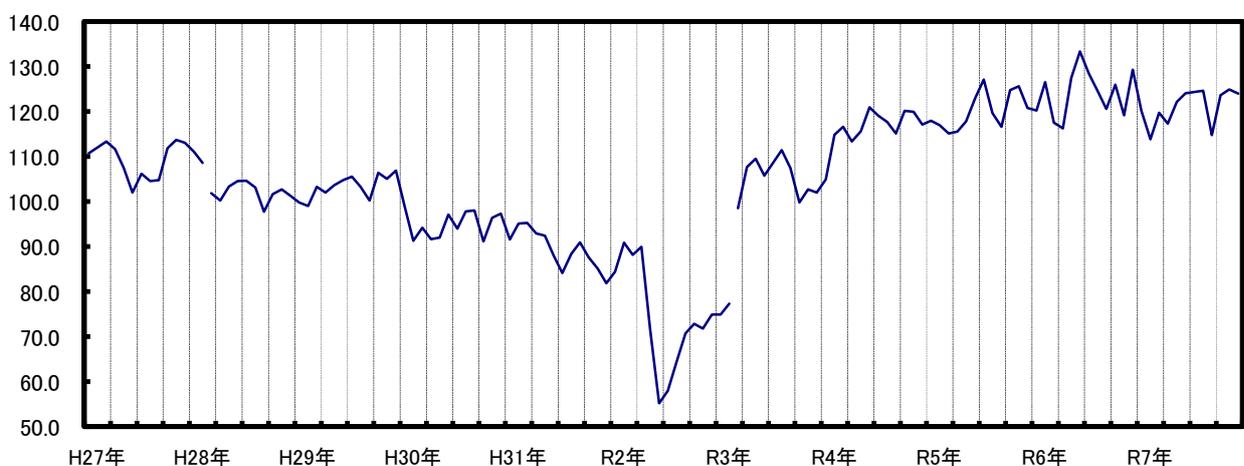
\*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

(令和2年=100)

1 月 = 128.4

\*前月比: 0.2%上昇

\*前年同月比: 2.3%上昇

#### <概況>

1月の国内企業物価指数は128.4となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は2.3%の上昇となった。

	R7年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月
国内企業物価指数	126.4	126.7	126.4	127.0	127.6	128.0	128.1	128.4
前月比 (%)	▲ 0.1	0.2	▲ 0.2	0.5	0.5	0.3	0.1	0.2
前年同月比 (%)	2.8	2.5	2.6	2.8	2.7	2.7	2.4	2.3

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

12月 = 146,916億円

\*前月比: 0.7%増

\*前年同月比: 1.9%増

#### <概況>

12月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は146,916億円で、前月比とは0.7%の増加となった。また、前年同月比は1.9%の増加となった。

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出残高(億円)	145,233	145,216	145,267	145,524	145,547	145,328	145,910	146,916
前月比 (%)	1.3	0.0	0.0	0.2	0.0	▲ 0.2	0.4	0.7
前年同月比 (%)	2.0	1.6	1.9	1.8	1.5	1.9	1.7	1.9

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

11月 = 1.541%

\*前月差: 0.002ポイント減

\*前年同月差: 0.217ポイント増

#### <概況>

11月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.541%で、前月から0.002ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.217ポイントのプラスとなった。

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出約定金利 (%)	1.483	1.485	1.534	1.542	1.540	1.543	1.543	1.541
前月差(ポイント)	0.037	0.002	0.049	0.008	▲ 0.002	0.003	0.000	▲ 0.002
前年同月差(ポイント)	0.179	0.213	0.268	0.274	0.261	0.240	0.222	0.217

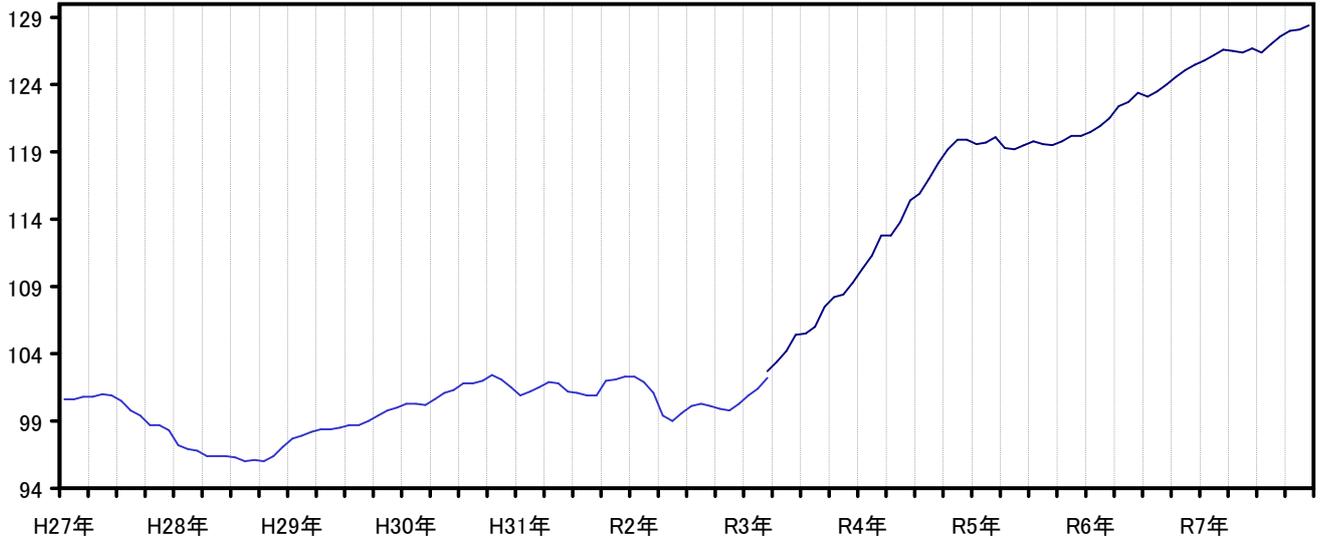
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

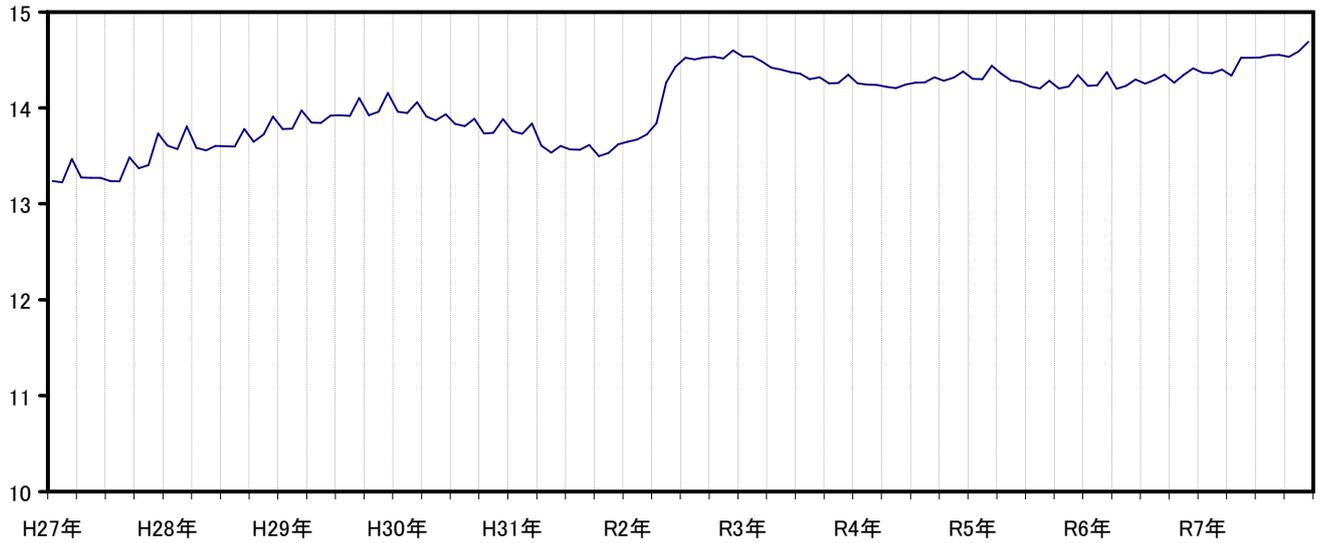
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



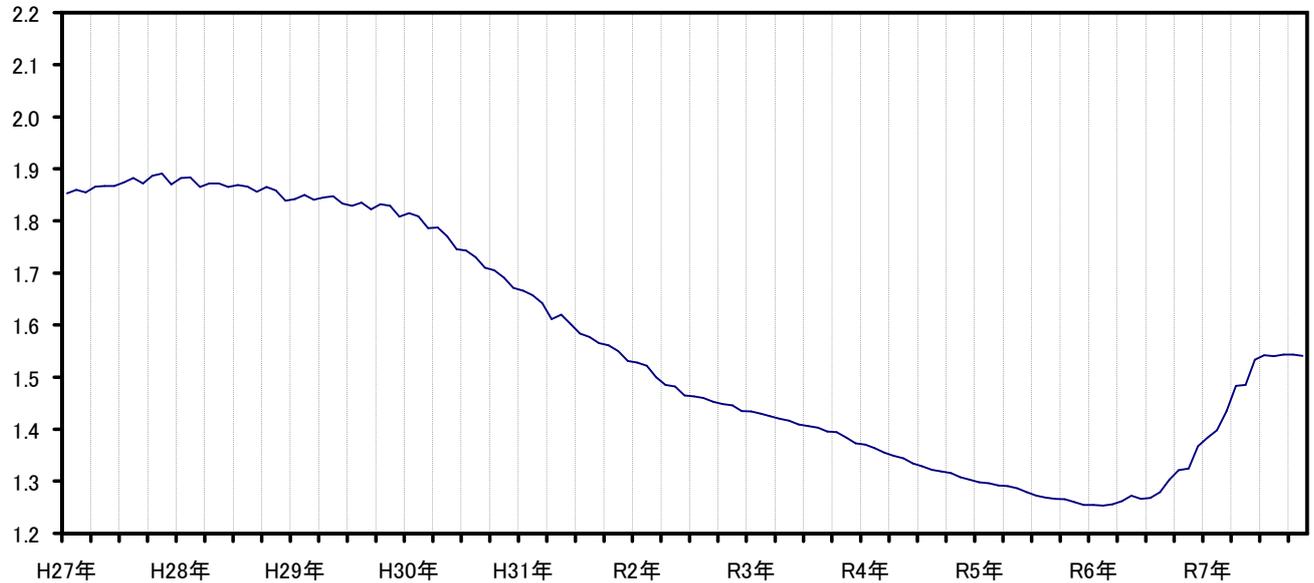
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****12月 = 20,988百万円**

\*前年同月比： 21.9%増

## &lt;概況&gt;

12月の保証承諾は、金額は20,988百万円（前年同月比 21.9%増）と前年を上回ったものの、件数は1,809件（同 25.3%増）と前年実績を上回った。

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額（百万円）	32,981	28,829	22,299	19,851	25,391	16,213	16,907	20,988
前年同月比（%）	52.2	▲ 4.9	▲ 2.8	41.4	79.5	27.6	15.9	21.9
保証件数（件）	2,030	1,961	1,753	1,584	1,984	1,536	1,411	1,809
前年同月比（%）	18.6	▲ 9.2	▲ 2.8	14.2	34.0	18.5	2.8	25.3

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****1月 = 156.71円/ドル**

\*前月差： 0.83円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

\*前年同月差： 0.22円安

## &lt;概況&gt;

1月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は156.71円で、前月と比べて0.83円の円安となり、7か月連続で円安となった。

## &lt;最近の動き&gt;

▲…円高

	R7年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年1月
平均相場（円）	144.50	146.71	147.67	147.94	151.28	155.12	155.88	156.71
前月差（円）	▲ 0.25	2.21	0.96	0.27	3.34	3.84	0.76	0.83
前年同月差（円）	▲ 13.32	▲ 11.35	1.44	4.56	1.65	1.40	2.16	0.22

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****12月 = 27件**

\*前年同月比： 58.8%増

## &lt;概況&gt;

12月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は27件（前年同月比 58.8%増）と前年実績を上回り、負債総額は 3,196百万円（同 108.9%増）と前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が20件と全体の74.1%を占め、32か月連続で50%以上となっている。

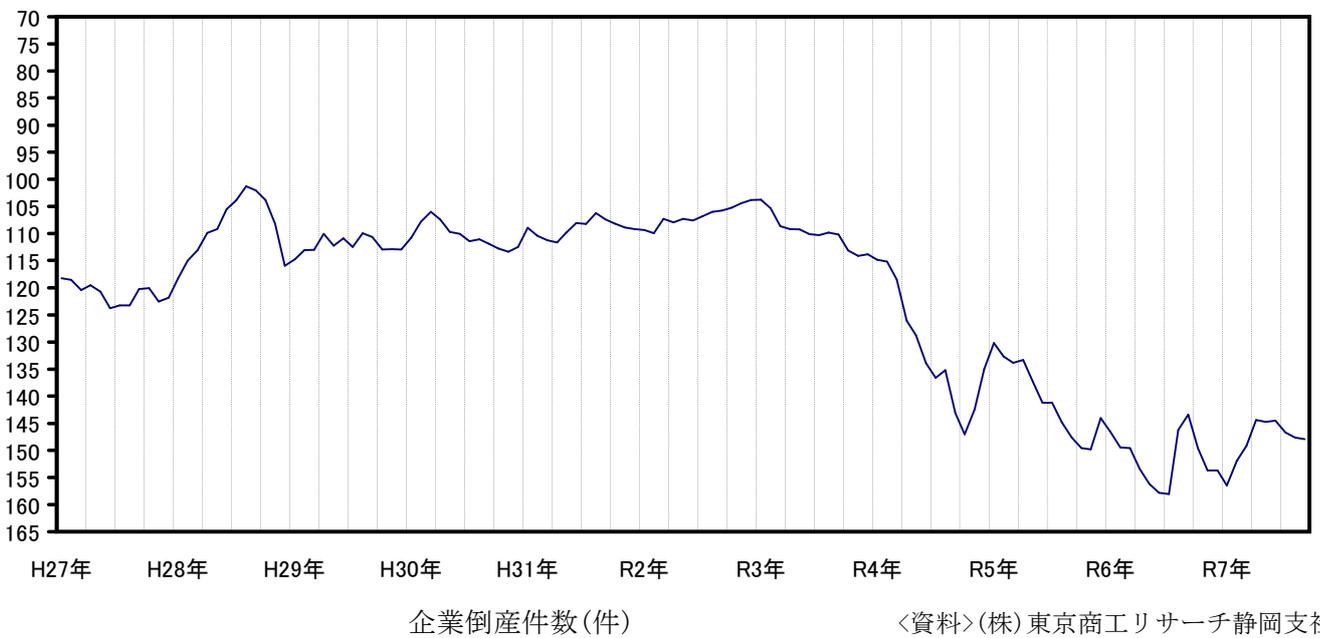
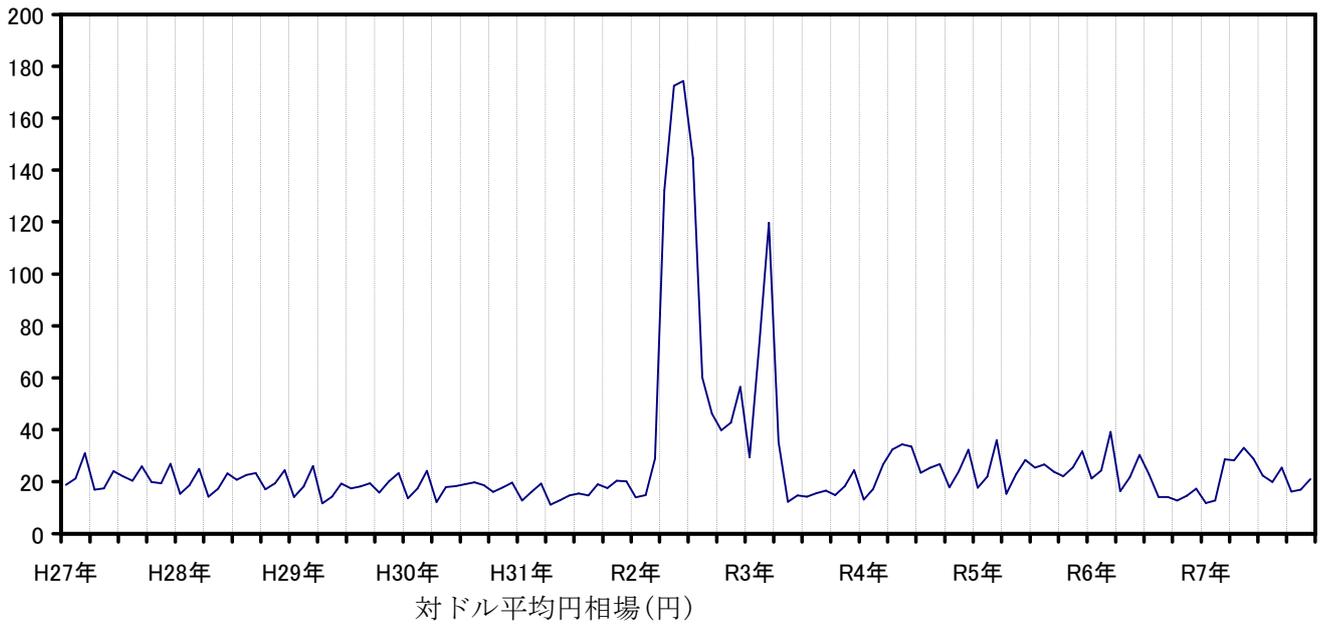
	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
倒産件数（件）	17	23	20	17	29	15	18	27
前年同月比（%）	▲ 22.7	76.9	▲ 23.1	41.7	38.1	▲ 48.3	38.5	58.8
うち不況型倒産件数(件)	14	18	18	12	25	11	17	20
負債総額（百万円）	1,653	2,896	3,548	2,832	3,380	1,693	3,149	3,196
前年同月比（%）	▲ 84.1	116.1	▲ 58.0	39.6	18.9	▲ 60.2	132.6	108.9

&lt;資料&gt;(株)東京商工リサーチ静岡支社

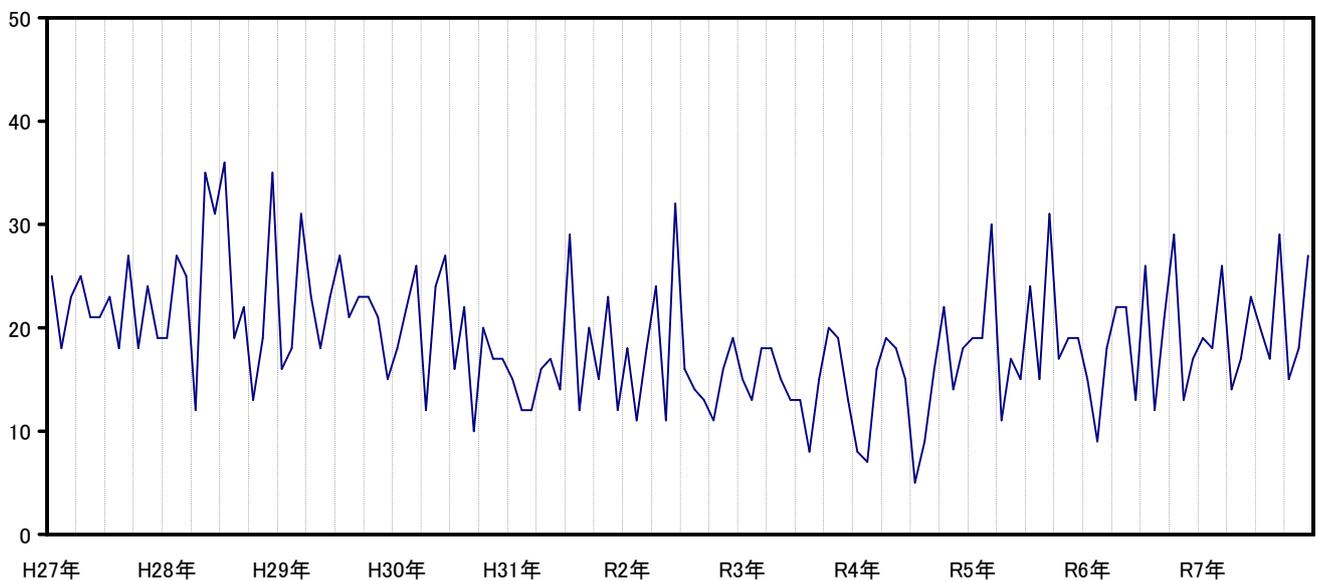
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 令和7年12月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>11月の国内二輪車生産台数は、59,399台（前年同月比6.7%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、1,524台（同84.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、5,382台（同88.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、6,790台（同70.8%増）で4か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、45,703台（同4.3%減）で、11か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、24,162台（同25.2%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、49,952台（同5.5%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>11月の自動車国内生産台数は、685,813台（前年同月比7.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。輸出は353,637台（同3.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが3か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が3か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電 気 機 械	<p>12月の冷蔵庫の国内出荷額は340億円（前年同月比5.0%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。国内出荷台数は291千台（同9.3%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>12月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは641千台（同3.6%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。業務用は64千台（同3.0%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>12月の携帯電話の国内出荷台数は、382千台（同16.2%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、334千台（同13.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は87.5%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生 産 用 機 械	<p>12月の工作機械の受注総額は、1,586億4,300万円（前年同月比10.9%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は1,187億3,800万円（同15.1%増）で、15か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが525億4,400万円（同2.4%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。内需は399億500万円（同増減なし）で、前年実績と同水準であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会</p>

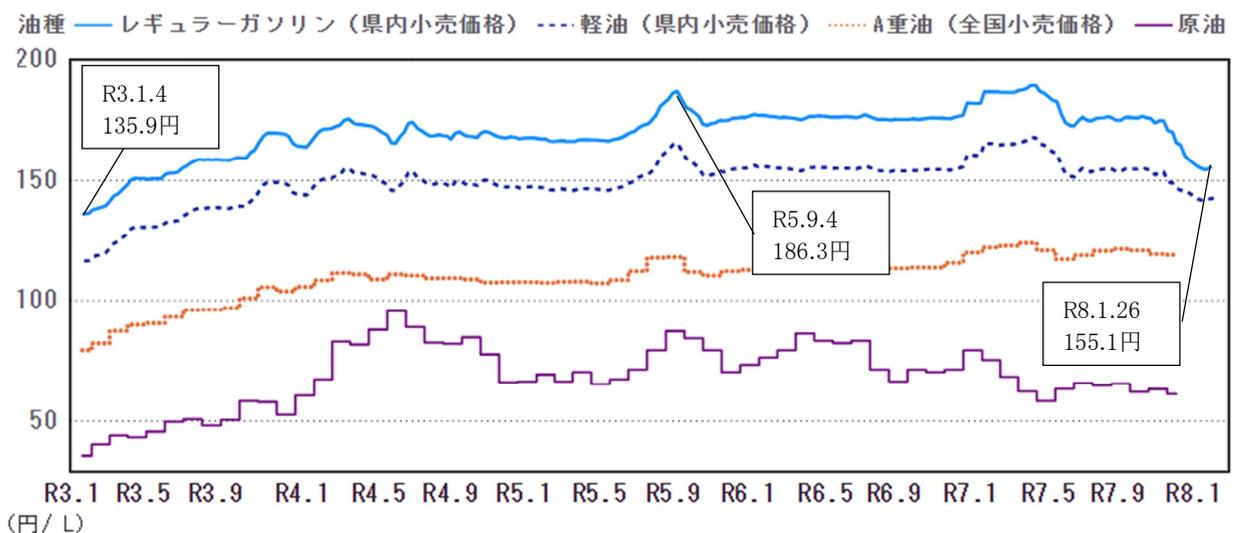
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>12月の県内楽器メーカーの販売金額は、48億7,304万円（前年同月比 2.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが27億7,236万円（同 0.5%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。国内向けが21億68万円（同5.2%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は1,801台（同1.8%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,015台（同 3.4%増）、グランドピアノが786台（同7.7%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,152台（同 7.8%増）で、4か月連続で前年実績を上回り、国内向けが836台（同14.6%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>12月の紙・板紙の国内出荷高は、1,677千トン（前年同月比 1.8%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は755千トン（同 4.1%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。板紙は922千トン（同0.1%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、373千トン（同 6.3%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の衛生用紙は、161千トン（同3.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>12月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が936千箱（前年同月比3.3%減）で3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）が718千箱（同2.2%増）で3か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は444千箱（同5.4%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は218千箱（同17.7%減）で4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類（国内向け）は、6,365千箱（同8.6%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>12月の広幅織物の県内生産は、808千㎡（前年同月比 9.7%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、778千㎡（同10.1%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、30千㎡（同1.4%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、18千㎡（同 11.1%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>12月の全国百貨店での家具販売額は、45億4,550万円（前年同月比1.6%減）と2か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、771億3,681万円（同9.3%減）と4ヶ月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>12月の県内百貨店・スーパーの販売額は、48,140百万円（既存店前年同月比0.8%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品及び食堂・喫茶で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品及びその他の商品の売上げが前年同月と比較して増加した。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は減少したが、売上げは増加した。食料品及び雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった一方で、衣料品、身の回り品及び家庭用品の売上げが不調だった。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は同程度であったが売上げは減少した。12月上旬の気温が高かった影響で、衣料品の売上げが不調だった。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は同程度であったが、売上げは増加した。物価高騰の影響により、売上げが増加した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和7年12月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約39万人で、前年同月比22.8%増となった。</p> <p>主な要因は、集客力のあるイベントの入込が増加したこと等によるものである。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約63万台となり、前年同月比0.7%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー155.1円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



## Ⅳ データからみた県内主要産業

### <二輪車>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完成車生産台数(台)	22,957	22,521	22,185	23,511	17,383	22,850	25,794	26,857	26,953
前年同月比(%)	▲9.2	4.0	0.5	2.1	▲11.5	▲2.8	▲6.5	▲8.0	34.7
KD輸出額(百万円)	2,276	1,962	1,889	1,404	1,164	1,693	1,596	1,973	2,152
前年同月比(%)	106.4	199.3	163.8	48.3	62.2	180.3	117.9	193.6	22.1

### <楽器>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産総額(百万円)	3,736	3,338	3,624	3,822	2,780	3,530	3,768	3,011	3,258
前年同月比(%)	7.7	▲4.7	8.5	5.6	6.1	19.3	10.7	▲2.6	14.3

### <缶詰>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食缶生産高(千箱)	965	924	1,014	999	842	967	1,007	925	936
前年同月比(%)	3.5	▲0.1	3.5	▲4.6	▲3.1	0.2	▲4.7	▲10.3	▲3.3
うち水産缶詰(%)	2.7	▲0.5	3.7	▲4.5	▲4.4	1.1	▲0.4	▲6.5	2.2
農畜産缶詰(%)	5.7	1.2	2.9	▲4.7	1.1	▲2.7	▲16.5	▲20.8	▲17.7
飲料缶生産高(千箱)	6,517	6,688	6,643	7,109	7,368	6,504	7,735	6,857	6,365
前年同月比(%)	▲3.4	▲9.2	▲8.0	▲6.4	4.3	0.9	13.7	0.3	8.6

### <繊維>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広幅織物(千㎡)	771	621	647	559	582	678	816	951	808
前年同月比(%)	▲14.8	▲17.2	▲9.8	▲10.7	▲5.5	▲16.9	▲8.5	▲2.5	▲9.7
小幅織物(千㎡)	17	16	16	16	15	16	15	15	18
前年同月比(%)	▲3.5	▲3.0	▲10.3	▲11.8	▲11.1	▲2.3	▲5.5	▲7.8	▲11.1

### <観光>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,724	1,846	1,448	1,893	2,502	1,712	1,877	2,011	1,933
前年同月比(%)	▲3.9	2.0	▲6.4	▲7.9	▲3.1	▲5.4	▲0.6	▲1.1	▲4.0
観光施設(10施設)入込 (千人)	525	512	309	301	444	309	450	560	395
前年同月比(%)	▲17.3	▲34.6	5.4	1.5	14.0	▲0.8	8.6	39.6	22.8
有料道路(4路線)通行 量(千台)	582	597	561	632	729	588	594	663	635
前年同月比(%)	▲11.9	▲14.4	▲3.8	0.9	6.1	0.8	▲2.7	5.6	0.7

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/">https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html">https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm">https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="https://www.meti.go.jp/statistics/index.html">https://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="https://www.mof.go.jp/statistics/">https://www.mof.go.jp/statistics/</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/">https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/</a>
有効求人倍率		



静岡県月例経済報告  
令和8年2月号 通巻598号

発行 静岡県経済産業部  
令和8年2月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>